

北信濃里山通信 vol.3

2011年10月31日発行

お知らせなど

事務局から

「北信濃の里山を保全活用する会・総会とオオルリシジミ生息地環境整備」の開催について

秋も深まり、木の葉も色づく頃となりました。県の「元気づくり支援金」で購入した刈り払い機器の使用準備も整いましたので、オオルリシジミの生息地の環境整備を当会の総会とあわせて、以下のとおり開催したいと思います。大勢の方々の御参加をお願いします。

1 日時 平成23年11月26日（土） 9：30～

2 日程

- 9：30～ 受付
- 10：00～ 「北信濃の里山を保全活用する会・総会」 飯山市公民館にて
- 12：00～ 移動・昼食
- 13：00～ オオルリシジミ生息地環境整備
- 16：00 解散

3 その他

総会では本年の活動内容や調査研究結果についての報告と当会活動体制と事業計画・予算などを審議する予定です。また、北信濃の生きものについて識者からの話題提供や会員の方々の意見交換を行いたいと思います。その他に要望される協議事項等ありましたら、あらかじめ事務局までお知らせください。

環境整備では小灌木の伐採作業を主とします。作業に適した服装でお越しください。
昼食には現地でキノコ汁を用意しますが、主食は各自ご用意ください。



2011年10月10日・草木が茂るオオルリシジミ生息地にて
ススキの穂が風にたなびき、秋の気配が漂います・・・。

戸狩スキー場におけるカヤ刈りについて

11月5日（土）に、井田会長が（株）修景事業（古民家・町並みの再生を中心にした職人技術を継承する会社だそうです・・・）と提携し、戸狩スキー場のカヤ刈りを実施します。古民家修復を目的とした茅葺屋根用のカヤ採取が主目的ですが、同時にオオルリシジミ生息地の創出を目指す試験的な刈り取りです。

間際になりましたが、御協力いただける方は、各自準備のうえ参加してください。

1. 日程 平成23年11月5日(土)

- 9:00 集合（戸狩温泉スキー場「とん平」駐車場）
- 9:30 茅刈り開始
- 15:00 茅刈り終了
- 15:30 解散

2. 準備物等 鎌など刈払い道具、軍手、昼食など、傷害保険は各自で対応をお願いします。

当会活動についてのアンケート結果について

去る6月11日の「オオルリシジミ観察会」で、参加者の方々に当会活動についてのアンケート調査を行い、21名の方から御回答をいただきました。御協力ありがとうございました。

その結果ですが、・・・

まず、問1として「オオルリシジミやギフチョウ・ヒメギフチョウの保護活動参加への意向は？」については、「積極的に参加したい」：5名、「依頼があれば参加する」：13名で、合わせて18名の方（回答比率：85.7%）から保護活動参加に肯定的な回答をいただきました。

他の回答は「何ともいえない」、「その他」、無回答が各1名ずつで、「参加したくない」と回答された方は、いませんでした。保護活動には会員の方に参加いただけるよう依頼したいと思いますので、よろしくお願いします。

問2として、問1で保護活動参加に肯定的な回答をされた方を対象に、「参加してみたい部門は？（複数回答可）」で尋ねたところ、「生息環境整備」：11名、「飼育・増殖」：8名、「パトロール活動」：6名、「調査研究」：8名でした。生息環境整備に協力いただける方が多かったですが、環境整備には人手が必要ですので、多くの方に参加いただけるとありがたいです（11月26日も是非！）。

問3として、「里山の自然観察・調査を行うにあたり、関心のある分野は？（複数回答可）」について、「生物の生態や生息種の解明」：15名、「地域の風土・自然史への理解」：7名、「里山資源活用」：9名、「その他」：1名でした。また、「対象としたい生物は？（複数回答可）」について、「植物」：13名、「動物」：5名、「鳥類」10名、「魚類」：2名、「昆虫」：10名、「その他」：1名でした。北信地域に生息する生物種と保全活用については、未解明・未検討なものも多く、幅広い分野で活動を展開していきたいと思えます

問4として、「会員相互の情報交換を行うにあたり、適当なものは？（複数回答可）」について、「連絡紙の発行」：10名、「定期的な会合」：5名、「Eメールの利用・HP等の開設」：11名でした。今後も当紙を通じ、各種情報や活動計画などお知らせしますが、会合やホームページの設営については検討させていただきます。

その他、会への要望や意見として、

「ぜひ子供＋親、小中学生を対象にPRを・・・」、「小中学生を対象にした観察会を実施していただきたい。」

「活動範囲を北信広域（木島平・山ノ内など）にひろげてくれれば・・・」

「観察会等で撮った写真展や意見交換会など・・・」

「里山の観察会・・・信濃平のギフチョウ、ホタルに関するもの」

「高齢のため保護活動はできませんが会員として観察会等には参加したいと思えます。」

などが寄せられました。

貴重な御意見を参考にして、次年度の計画につなげたいと思えます。

飯山市生物多様性保全活用計画の策定について

飯山市では環境省からの支援を受けて、生物多様性を保全活用するために必要な事業を実施しながら、その計画を策定していきます。事業は本年9月から2年間で、各分野での専門家（植物・動物・鳥類・昆虫など）からなる委員を参集して進めます。

本年度事業として、飯山市内に生息する生物種の情報収集や既存調査データの分析検討を行いながら、一般市民の方々にも啓発冊子を発行する予定です。

また、来年度以降は、ナラ枯れなどの里山が抱える問題についても提起しながら、特定種に限らず北信濃に生息する生き物たちを地域資源として、包括的・体系的に捉え、市民の方々为主体となった保全活用を進めながら計画策定につなげたい考えです。

なお、飯山・北信地域には、オオルリシジミやギフチョウ以外にも環境省及び長野県版レッドデータブックに掲載されている希少な動植物が生息していますので、当紙でも次号以降、順次紹介していきます（予告！）。

調査・活動報告など・・・

事務局から

オオルリシジミの食草・クララの挿し木による増殖について

オオルリシジミの保全のためには、その食草のクララを増殖、植栽しながら生息環境を整備することが重要です。通常、クララの莢実から種を採取して播種し、実生から育苗しますが、発芽が不斉一・不安定なことがあったり、実生からオオルリシジミの食草として利用できるようになるまで3年程度（長い！）かかることから、より効率的なクララの増殖法が望まれるところです。

そこで、オオルリシジミにも関心をもたれている黒岩山保全協議会・事務局の田村さんが、クララの挿し木（挿し莖？）による増殖法を試みましたので紹介します。

7月にクララの莖を採取して30cm程度に切り取り、莖の下部に市販の発根剤を塗布してプランターの苗床に挿して様子を見ました。

その結果、挿したクララの莖の9割程度が発根し、苗床に活着しました。活着したクララは、その後も生長しているようで、苗として利用できそうです。

この手法によりクララの効率的な増殖に活用可能で、オオルリシジミの生息域拡大につながることを期待されます。「来年、クララの植苗イベントでもできれば・・・（田村さん談）」とのことでした。



挿し木により育苗中のクララ

オオルリシジミの系統保存について

オオルリシジミ飯山個体群の系統については、いざという時に備え、当会で許可を得て系統保存を行っています。本年は飼育により、60頭あまりの蛹が確保できましたが、成虫の産卵や幼虫の成育が不調なものが見られ、少々気になります・・・。虫質（形状や健全性など）の安定維持を図りながら系統保存していくことが、今後の課題というところです。

黒岩山環境整備・ワーキングホリデー報告

前号でお知らせしました黒岩山保全協議会の方々と都会から参加者を募集して里山環境整備の協働作業を行うワーキングホリデーが9月は25日（日）に開催されました。

当日午前中は環境整備（林内の間伐など）、午後は黒岩山周辺の散策を行いました。

散策では、道中見つけたハシバミやヤマボウシの実を味わい、珍客のママシが出現するなど、都会の方々には新鮮な体験ができたようでした。桂池周辺はリスアカネが多く見られ、当会事務局の福本は他の赤トンボ（アキアカネなど）との見分け方を説明しました。また、当会から参加された花崎さんには植物・花の解説をいただきました。

散策の終わりには黒岩山から田園が広がる市内を眺望し、渡りの時期を迎えたサシバなどの猛禽類も観察できました。



ヤマボウシの赤い実



参加者の方々の集合写真・当日は天候にも恵まれました。



リスアカネ（赤トンボの仲間）

編集後記

事務局から

秋も深まり、里山では紅葉狩りやキノコ採りが楽しめる季節になりました。そんな里山の魅力を伝えるべく、事務局では今年の活動のまとめと来年に向けての計画作りをしなければならないところです。

11月26日には当会の総会とオオルリシジミ生息地の環境整備を予定しています。総会には是非とも出席され、活動計画に対しまして御意見、御要望などをいただけますようお願いいたします。

また、生息地環境整備では、これまで広大な生息地に少人数での作業に限界を感じていたところです。当会が発足してオオルリシジミの保護の新たな展開を期待していますが、北信濃の里山保全にマンパワーが結集できるよう関心を持つ方々に呼びかけいただけましたら幸いです。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会	会長 井田秀行
事務局：〒389-2253	飯山市大字飯山1 4 3 6-1
	飯山市公民館内
TEL：0269-62-3342	FAX：0269-62-5940
E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp	
編集者・事務局長：福本匡志	